

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-IV-13

4-IV
-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	宿泊施設等でのホスピタリティの向上
	節	IV ホスピタリティの向上		
事業(施策)名	13 飲食店・土産物店の観光案内機能充実・ホスピタリティ向上の取組		事業主体	佐渡観光協会
			関連団体	新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市観光振興課、佐渡市産業振興課、県観光協会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】			
	○ 多様な来訪者への対応に向けて、飲食店・土産物店でのホスピタリティの向上を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 飲食店・土産物店の従業員及び関係者を対象に、ホスピタリティの向上に向けた研修会の開催や関連情報の提供など各種啓発活動とともに、関係者間の情報交換の機会拡充を図る。			
事業実績	【事業成果】			
	●本年度は、宿泊施設向けの研修会等を中心に実施したため、飲食店・土産物店の従業員を対象とした研修会は未実施であった。			
今後の取組・課題	【課題】			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光施設のホスピタリティの向上のためには、各施設の理解を進める必要がある。 ■ お土産類は、島内産の原材料を使ったものでも製造が島外という物が多くなっている。おススメ認定等の制度化への検討が必要。 			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	■ 各施設の理解を得て、各施設の従業員向けホスピタリティ向上研修会をトライする。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a・b・c]			
	◇ 平成29年度は、商工会等と連携協力を図りながら、計画に基づき、実施を進める。			
事業評価	【事業実施の効果】			
	[a・b・c]			
	【総合評価】			
[A・B・C]				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。